

丹波東部（竹田川流域圏）
地域総合治水推進計画
（素案）

平成25年■月

兵 庫 県

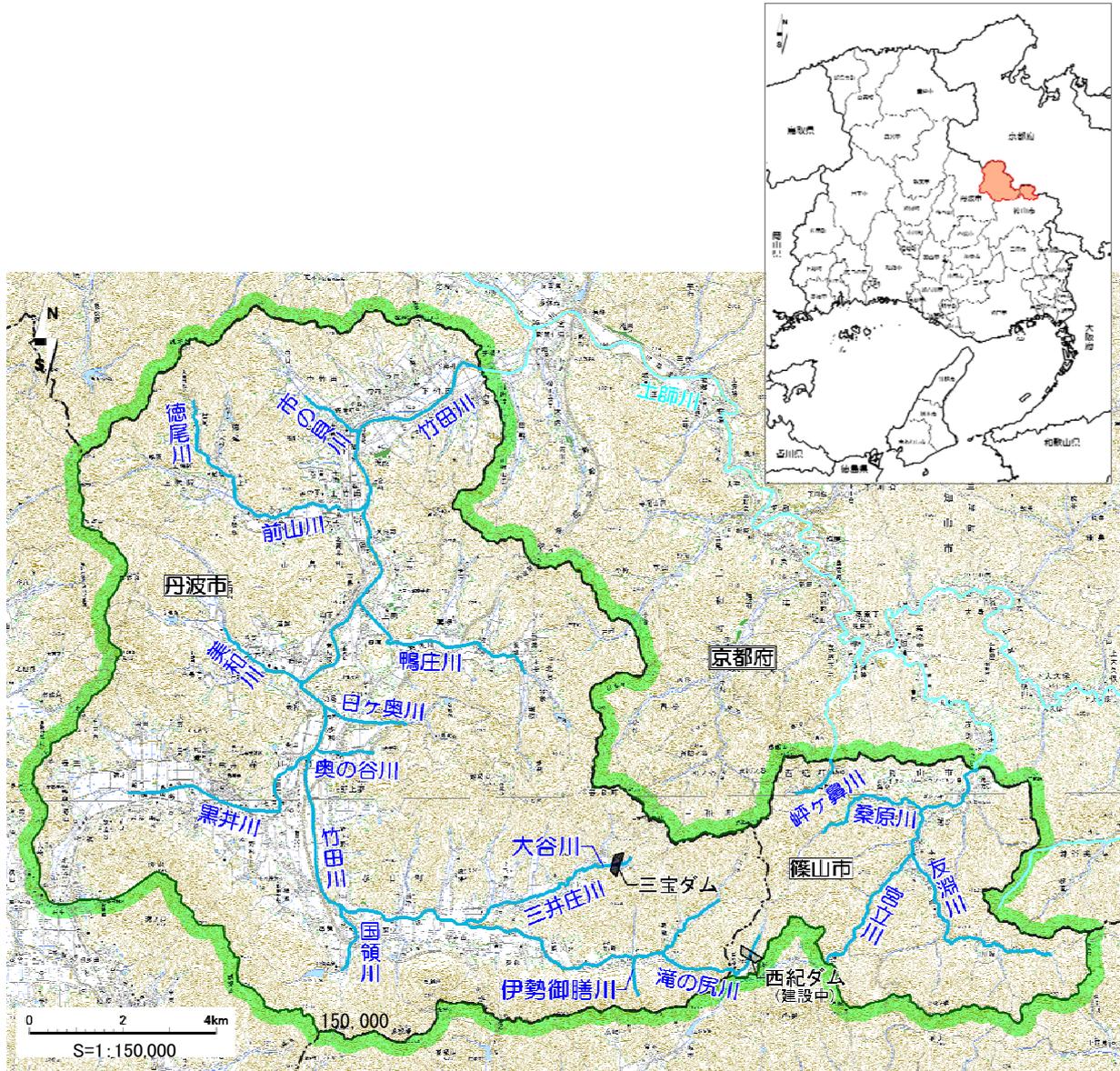
丹波東部地域総合治水推進計画 目次

1. 計画地域の概要	1
1-1. 計画地域の概要	1
1-2. 洪水被害の発生状況	9
1-3. 河川・下水道の整備状況	10
1-4. 総合治水を推進していく上での課題	11
2. 総合治水の基本的な目標	12
2-1. 基本目標	12
2-2. 計画期間	12
3. 総合治水の推進に関する基本的な方針	13
3-1. 河川・下水道対策	13
3-2. 流域対策	13
3-3. 減災対策	15
3-4. 環境の保全と創造への配慮	15
4. 河川下水道対策	16
4-1. 河川対策	16
4-2. 下水道対策	18
5. 流域対策	19
5-1. 調整池の設置指導	19
5-2. 雨水貯留の取り組み	21
5-3. ダム、ため池の治水活用	31
5-4. ポンプ施設との調整	32
5-5. 森林などの流出抑制機能を有する土地の保全等	34
6. 減災対策	37
6-1. 浸水が想定される区域の指定	37
6-2. 県民の情報の把握	41
6-3. 浸水による被害の発生に係る情報の伝達	43
6-4. 浸水による被害の軽減に関する学習	49
6-5. 浸水による被害の軽減のための体制の整備	55
6-6. 訓練の実施	60
6-7. 建物等の耐水機能	61
6-8. 浸水による被害からの早期の生活の再建	62
7. 環境の保全と創造への配慮	63
7-1. 竹田川流域	63
7-2. その他の河川	64
8. その他総合治水を推進するにあたって必要な事項	64

1. 計画地域の概要

1-1. 計画地域の概要

丹波^{たんば}東部地域（竹田川^{たけだ}流域圏）（以下、「計画地域」という）は、由良川^{ゆら}流域（竹田川流域、岬ヶ鼻川^{しりがはながわ}流域、友淵川^{ともぶちがわ}流域）で構成され、丹波市^{たんば}、篠山市^{ささやま}の2市にまたがる地域であり、面積は約184km²で県土全体の2.2%を占めている。



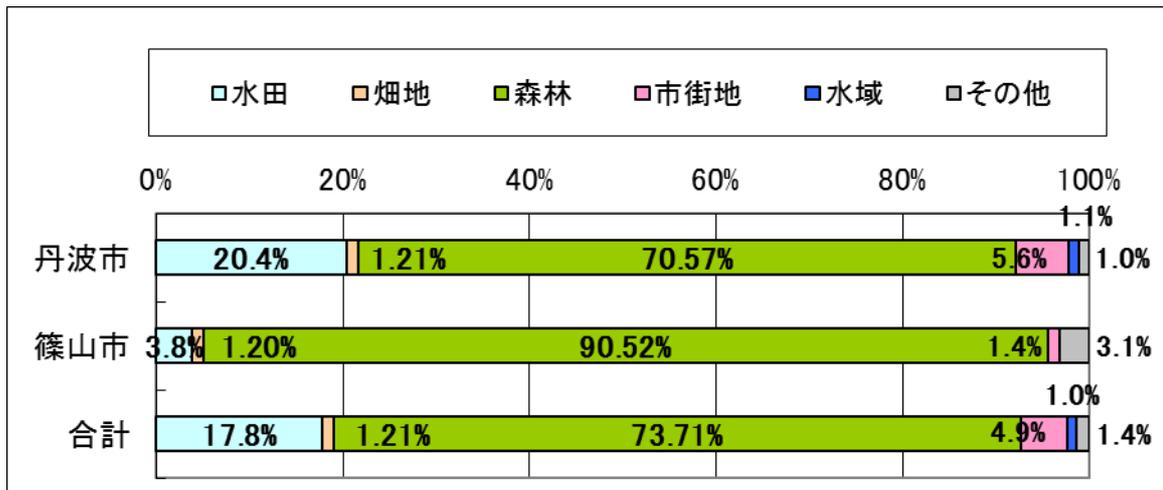
丹波東部地域区域図

1-1-1. 土地利用及び人口

計画地域の土地利用は、山地部では森林が広く分布し、平地は主に水田・畑で占められている。宅地は、河川に沿って存在している。平成 21 年度の土地利用別割合をみると、森林が 74%を占め、水田・畑地が 19%、市街地その他が 7%となっており、計画地域の 9 割以上が森林・水田で占められている。

計画地域の人口は、平成 22 年 10 月時点で約 2.3 万人である。

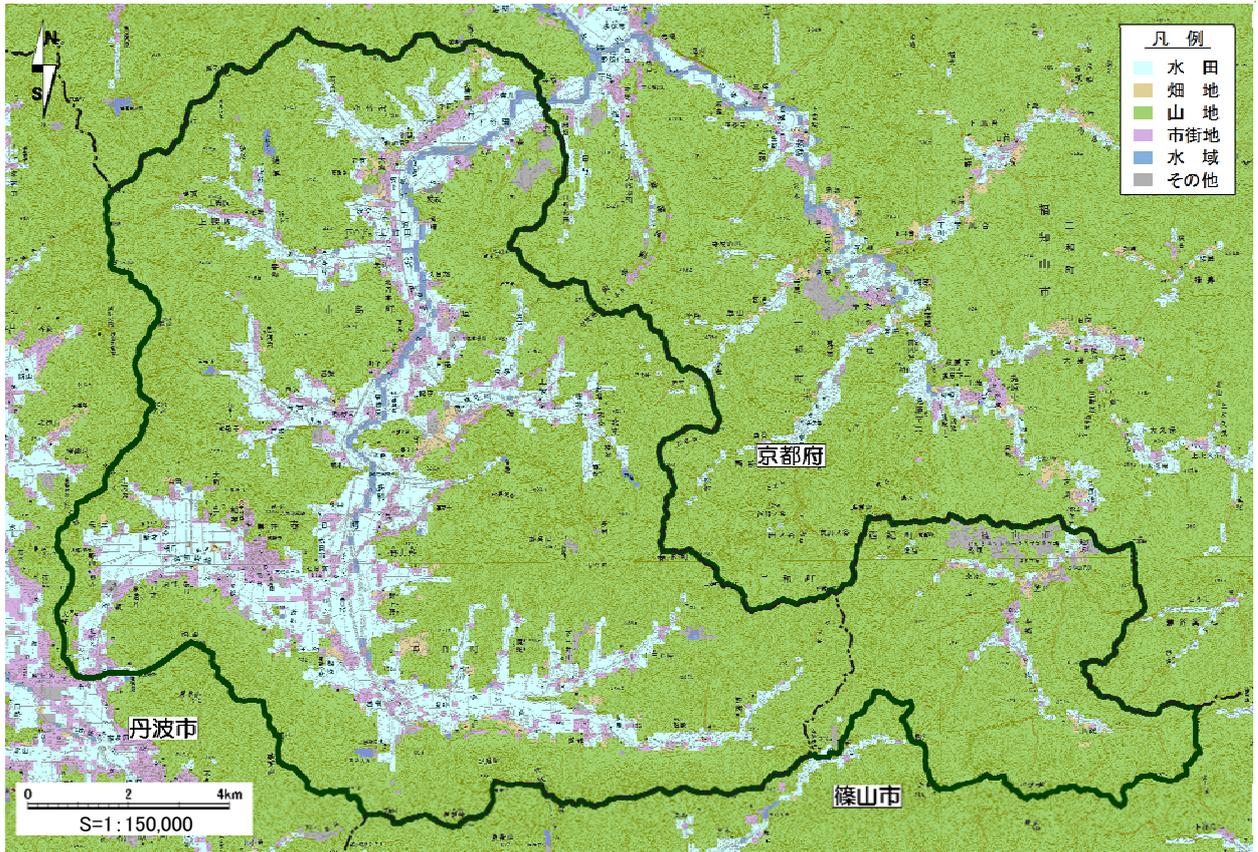
土地利用割合



土地利用種別面積

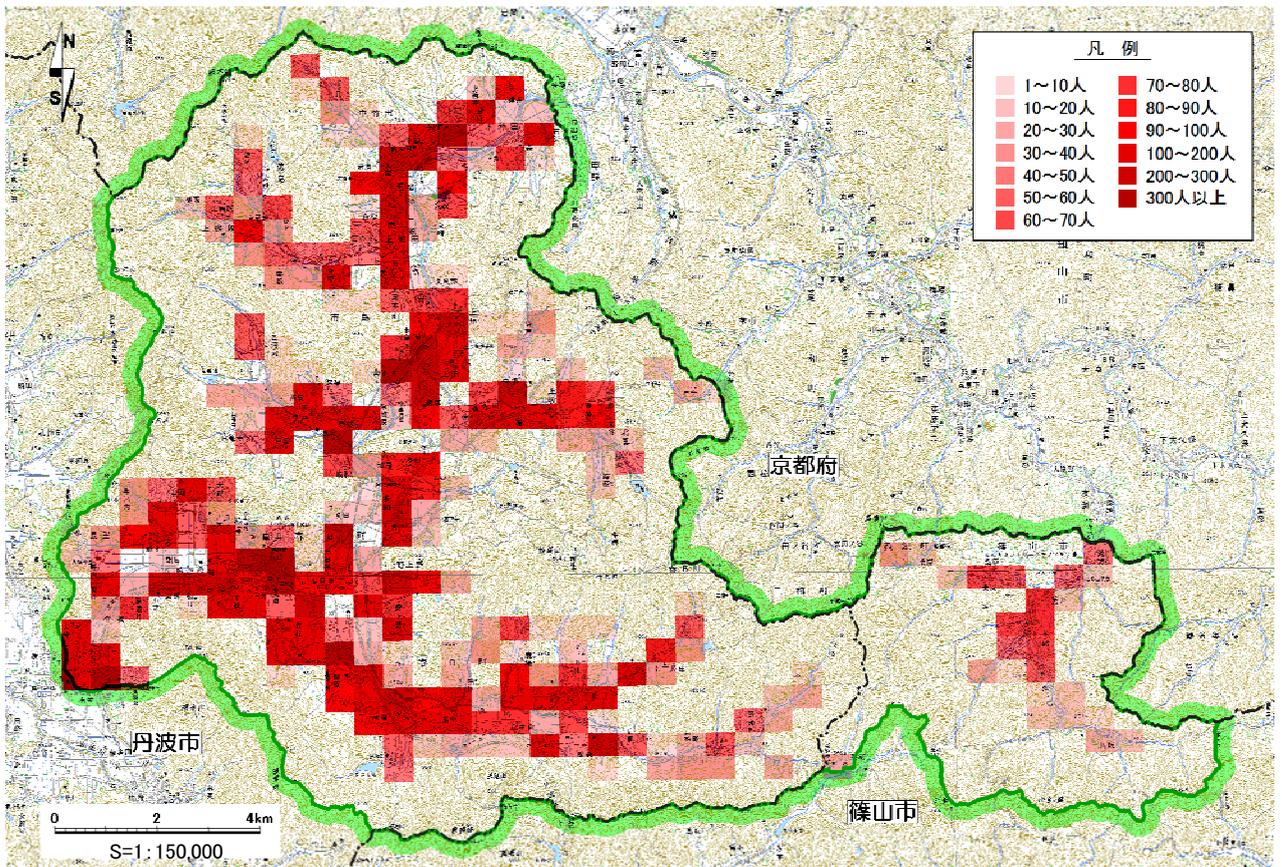
市名	土地利用別面積 (km ²)						合計
	水田	畑地	森林	市街地	水域	その他	
丹波市	31.7	1.9	109.5	8.7	1.8	1.6	155.2
篠山市	1.1	0.3	26.2	0.4	0.0	0.9	28.9
合計	32.8	2.2	135.7	9.1	1.8	2.5	184.1

出典：国土数値情報 平成21年 土地利用メッシュデータ



(出典：国土数値情報 平成21年 土地利用メッシュデータ)

土地利用分布図



出典：平成22年国勢調査（世界測地系500mメッシュ）

人口分布図

1-1-2. 対象河川の諸元

以下に対象河川の諸元を整理する。

対象河川諸元一覧

河川名		流路延長 (km)
由良川水系	竹田川	25.092
	いち かい 市の貝川	1.758
	さきやま 前山川	4.736
	とくお 徳尾川	2.200
	かもしょう 鴨庄川	5.882
	みわ 美和川	2.600
	ひがおく 日ヶ奥川	2.605
	くろい 黒井川	4.672
	おくたに 奥の谷川	1.350
	こくりょう 国領川	1.500
	みのしょう 三井庄川	4.952
	おおたに 大谷川	0.830
	いせごぜん 伊勢御膳川	0.403
	たきしり 滝の尻川	3.000
	ゆりはな 岬ヶ鼻川	1.535
	ともぶち 友湍川	9.487
	くわばら 桑原川	2.400
みやたて 宮立川	1.350	

出典) 丹波土木事務所管

内図 (平成23年6月)

1-1-3. 地形・地質

(1) 地形

計画地域の地形は、300～650m前後の山々に囲まれ、播但山地の東部中央山地に属し主に小起伏山地や中起伏山地から成る。多紀連山が南北に位置し、多紀アルプスと呼ばれるように大起伏山地があり、周囲の山稜とともに地形は急峻で、平面地から突出する形の山際と狭く切り立つ山並みは東西に走りひらけている。計画地域の南西部に一部見られる丹波低地は谷底平野の集まりによる低地帯で非常に低平である。



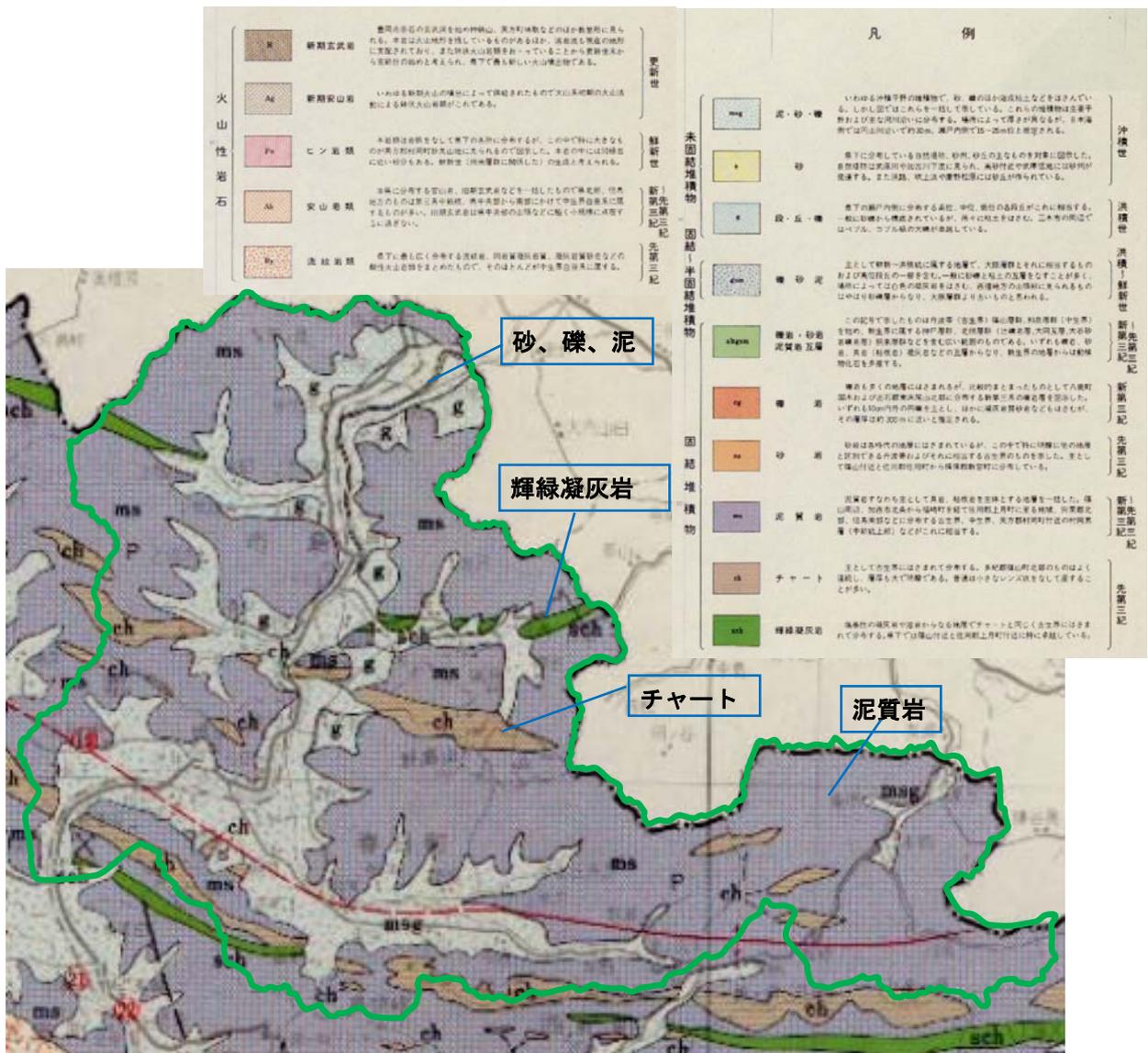
出典：20万分の1土地分類基本調査及び土地保全基本調査（国土交通省 国土政策局 国土情報課P）
地形分類図

(2) 地質

地質は、古生層の丹波層群を主体に、中世の篠山層群、そして新世層の段丘層と沖積層で構成される。古世層は丹波層群とその中に帯状、あるいは線状に分布するチャート(珪石)及び塩基性火山岩類から成り立っている。

丹波層群は砂岩粘板岩を主体に構成され、粘板岩に挟まれるように帯状のチャートと塩基性火山岩類(溶岩等)が分布し、中でも硬質で浸食に強いチャートは多紀連山山頂部を構成しており、県下でもっとも明瞭なもので、いわゆる瓦礫岩、砂岩、粘板岩、凝灰岩等からなり、動物性化石を多産する地層である。

結堆積物の泥質岩、輝緑凝灰岩、チャート(丹波層群)と未固結の沖積層の粘土・土・礫や段丘堆積物(新生代第四系)で構成されている。



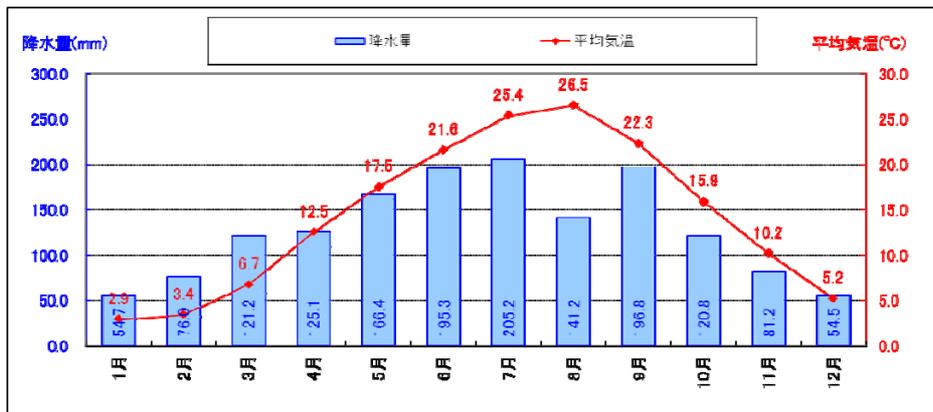
出典：20万分の1土地分類基本調査及び土地保全基本調査(国土交通省 国土政策局 国土情報課HP)
表層地質図

1-1-4. 気象・気候

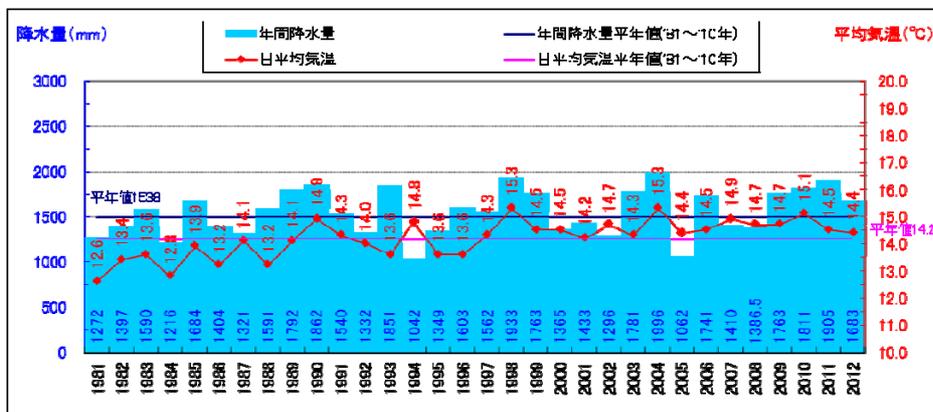
計画地域は、県南部の瀬戸内海型気候と県北部の日本海型気候との接点にあたり、両者の中間的な色合いを持っている。

気候は、夏には 35℃以上を記録、冬には-5℃以下を記録することがあるものの、相対的には穏やかな気候であり、年間の平均気温は 14.2℃となっている。

年間の降水量は、柏原観測所(近畿地方地方整備局／兵庫県)の 1981年から 2013年までの 32年間の記録によると平均降水量は 1,538mm である。冬期には 15cm 程度の積雪を 2～3 回見るが、時雨や粉雪の舞う日数は比較的多い。また、周囲が山々に囲まれているため、霧の発生する日が年平均 63 日と多く、丹波特有の盆地霧(丹波霧)として有名である。



1981年～2013年度 月別平均 降水量・気温一覧表



1981年～2013年度 年度平均 別降水量・気温一覧表